



作業療法士と福祉用具専門相談員の連携研修 in 福岡 H29年度本格導入前のモデル研修開催

【写真】座学で講義をする渡邊氏



3月4日(土) 午後2時より、「作業療法士と福祉用具専門相談員の連携研修」を福岡県北九州市の「福祉用具プラザ北九州」にて開催しました。本研修は、地域包括ケアシステムが導入されていく中で、医療機関から在宅生活に移行される高齢者の在宅環境や、主介護者となる方の不安解消とご本人の自立に向けたサポートのための情報共有を目的としています。そしてこの作業療法士と福祉用具専門相談員の連携研修を、平成29年度以降本格的に各ブロックで開催していくためのモデル研修と位置付けています。

受講生は、開催地ブロックとなる福岡県を中心に、全国から今後開催を計画予定のブロック関係者25名(ふくせん会員・福祉用具専門相談員)とファシリテーターとして福岡県内の福祉用具に見識の深い作業療法士5名の合計30名です。講師は本会理事であり、神奈川県作業療法士会顧問の渡邊慎一氏。

また、今回の福岡県での研修会は、事前の打合せ、運営等において福岡県の作業療法士会とふくせんの福岡県ブロックからご協力を頂き開催できましたことを感謝申し上げます。

【研修会の流れ】(150分)

オリエンテーション	15分	開催の目的 他	
講義	30分	講師による座学	
事例の読み込み	10分	フェースシート・ケアプラン・図面・福祉用具サービス計画書	1グループ6名 (福祉用具専門相談員5/作業療法士1) ×5グループ
演習①	20分	生活全般の解決すべき課題・ニーズと福祉用具利用目標の検討	
発表①	10分		
演習②	20分	福祉用具の選定と選定理由の検討	
発表②	10分		
演習③	20分	留意事項の検討	
発表③	10分		
講評・まとめ	15分		

【福祉用具専門相談員のコメント】

- ・レベルの高い研修に参加させていただいてありがたかった。現場に持ち帰り、質・精度を上げていきたいと思う。
- ・本当にレベルが高かった。ケアマネジャーにも参加して頂き、我々が何を考えているのかを体感して欲しい。
- ・時間(グループワーク)が短く感じた。
- ・専門職の方との連携がもっと必要であると改めて思った。ただ内容的には倍の時間が欲しかった。
- ・リハの専門家と考える事で、福祉用具選定の幅が広がった。分からない事例があれば相談したいと思う。

【作業療法士のコメント】

- ・用具の選定では必要なスペックを出していく形の方が全員に必要な情報がわかりやすいと思う。ふくせんなどに書いて貼る方がまとめやすいかも。やはりメンバーにケアマネが入って欲しい。
- ・もう少し時間がほしい。

【福祉用具専門相談員アンケート(抜粋)】

- ☆今回の研修会について <全体>
- ・良かった 23票 : 95.8%
 - ・まあまあ良かった 1票 : 4.2%
- ☆今後この研修会を地元ブロックで実施したいと思いますか
- ・思う 24票 : 100.0%
 - ・思わない 0票 : 0.0%

【作業療法士(抜粋)】

- ☆今回の研修会について<全体>
- ・良かった 5票 : 100.0%
 - ・良くなかった 0票 : 0.0%
- ☆今後この研修会を地元ブロックで実施したいと思いますか
- ・思う 5票 : 100.0%
 - ・思わない 0票 : 0.0%

【事務局より】

本研修を本格的に来年度より各ブロックで開催するにあたって、コメントやアンケート結果を精査して反映してまいりたいと思います。

また、多職種連携は喫緊の課題ですので、各ブロックが開催できるよう他の団体への働きかけなど積極的に行ってまいりたいと思っております。

本研修に限らず、各ブロックで地域の福祉用具専門相談員が研修会に参加し、資質向上に努められる研修機会の確保も本会の務めと思っております。来年度も研修会を数多く地域で開催できますよう努めてまいります。